



- ★対象★幼稚園年長～大人
- ★定員★120人【申込先着順】
- ★参加費★子ども（中学生以下）500円
大人 1000円
親子ペア 1200円
※当日はそれぞれ 200円アップ
(定員に達した場合など当日入場できない場合あり)
- ★申込・問合せ先★山口県子ども文庫連絡会
083-232-7956 (こどもの広場)
090-2008-9467(山本)



あべ弘士さんプロフィール

1948年北海道旭川市に生まれる。1972年から25年間旭山動物園の飼育係として、ゾウ、ライオン、フクロウなどさまざまな動物を担当する。1996年旭山動物園を退職し、創作活動に専念する。2009年北海道旭川市美術館にて「あべ弘士動物交響楽」展を開催。その後、全国で作品展開催。『あらしのよるに』（きむらゆういち/文 講談社）『どうぶつえんガイド』（福音館書店）『ハリネズミのプルプル』（二宮由紀子/文 文溪堂）『宮沢賢治「旭川。」より』（BL出版）『クマと少年』（プロンズ新社）『ちび竜』（工藤直子/文 童心社）『えほんなぞなぞうた』（谷川俊太郎/文 童話屋）など著書は200冊以上。講談社出版文化賞絵本賞、産経児童出版賞JR賞、赤い鳥さし絵賞、産経児童出版文化賞美術賞、北海道ゆかりの絵本大賞、日本児童ペンクラブ児童ペン賞絵本賞など受賞多数。2011年からNPO法人かわうそ倶楽部を設立、旭川市にてギャラリープルプルを運営する。2019年、絵本作家30周年記念として「あべ弘士の絵本と美術 一動物たちの魂の鼓動」（ふくやま美術館 広島）開催。2011年北極探検をする。カムチャッカ半島から千島列島を旅し、長年の夢であったウシシル島を訪れる。2018年と2019年に、カナダノースウッズを訪れ、30kgの荷物と20kgのカヌーを担ぎながら湖を巡る。また各地で自作の絵本の朗読劇を行い、好評を得ている。旭川市在住。



- ★留意事項★ 団体広報用や子どもゆめ基金への報告用に講演会中の写真や動画撮影を行います。広報用に、HP や SNS・刊行物に掲載することがあります。それ以外の目的では使用しません。なお、子どもゆめ基金への報告用に提出した個人情報(写真)は「(独)国立青少年教育推進機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。あらかじめご了承ください。マスクの着用・検温のご協力・手指の消毒・チェックシートのご記入をお願いします。咳や発熱などのある方は参加をご遠慮ください。



★主催★ **山口県子ども文庫連絡会**

- ★後援★ 下関市教育委員会
子ども本ジョイントネット 21・山口
子どもの本専門店・こどもの広場

- 『新世界へ』（借成社）
- 『きょうのシロクマ』（光村教育図書）
- 『よあけ』（借成社）
- 『ギザエラグ あべ弘士のシートン動物記②』（学研プラス）
- 『オオカミ王ロゴ あべ弘士のシートン動物記①』（学研プラス）



旅から絵本ができた
北極まで